

平成28年度京都大学法学部 第3年次編入学試験問題

論 文

試験時間 13:30 ~ 16:00

※注意事項

- ・係員が試験開始の合図をするまで、問題を見ないこと。
- ・問題用紙は試験終了後、持ち帰ること。
- ・問題は第一問と第二問からなり、第二問には小問がある。全ての問題に解答すること。
- ・解答用紙は第一問と第二問別々であるので、間違えないように解答すること。
- ・小問は順番通り解答すること。
- ・問題用紙は下書きに使用してもよい。

第一問

「法教育」とは、「法律家ではない一般の人々が、法や司法制度、これらの基礎となっている価値を理解し、法的なものの考え方を身に付けるための教育である」といわれている。このような「法教育」を小学校、中学校及び高等学校の児童及び生徒を対象に実施することについて、その意義と課題を具体的に論じなさい。

第二問

次の文章を読み、下の問いに答えなさい。

政治学をはじめとする現代の社会科学研究では、一般に、個人は「合理的」に行動しようとする、という前提をとる。ここで「合理的」とは、自分の主観的な利益や目的をできるだけ効率よく実現しようと考えて行動する、ということの意味する。

しかし、そうすると、たとえば国政選挙に出かける多くの人々は非合理的に行動している、ということにならないだろうか。「合理的」な個人にとって、このような選挙に参加して投票するという行動は、ほとんどの場合、「合理的」ではないはずだからである。

- (1) 下線部について、なぜそのように言えるのか、説明しなさい。
- (2) 「選挙への参加は合理的な行動である」と説明する方法を考え、論述しなさい。
- (3) 現代政治における選挙の意義と課題について、あなたの見解を自由に論述しなさい。